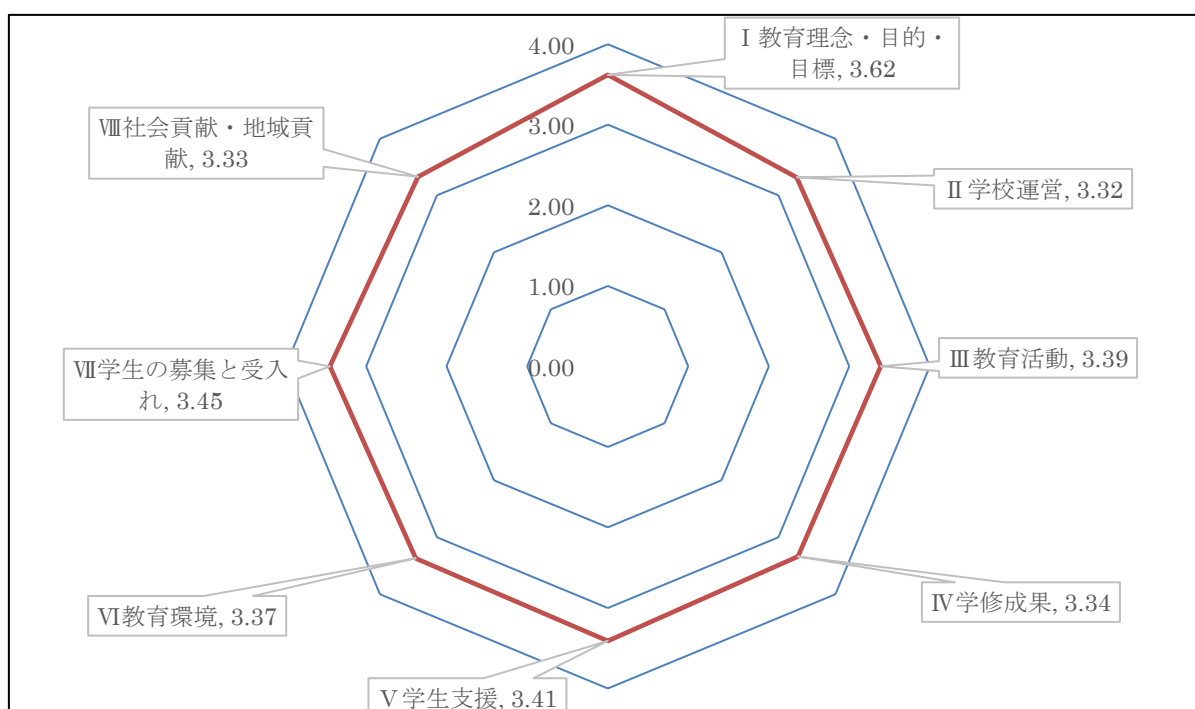


令和7年度萩看護学校自己評価報告書

1 評価結果



* 評価(平均)は、以下の評価基準に基づき、全教職員が評価を行ったものの平均を採用。

《評価基準：4 十分に満たしている 3 満たしている 2 改善の余地がある 1 改善が必要》

2 評価結果項目別内容

I 教育理念・目的・目標

教育理念・目的・目標を明文化して、教育計画や学生便覧・スクールガイド、ホームページ等に掲載しているほか、行事等の機会を捉えて学生・保護者に周知を図っている。学生募集等の機会を活用し一層の周知に努める。卒業時の到達度アンケート結果等を活用し、今後も教育の充実を図る。

II 学校運営

本校の設置趣旨に基づき、運営方針を定めるとともに、重要課題を組織目標に掲げ、計画的に取り組んでいる。今後も一丸となって、課題の解決に向け、積極的に取り組む。

組織整備については、法令等の遵守や適正な学校運営のための組織、規程等を設け適宜見直すとともに、自己評価を実施している。

併せて、学校関係者評価も実施し、委員の意見を学校運営に反映させている。

なお、一昨年に作成したハラスメント対策マニュアルについて教職員・学生に周知している。

また、デジタルツールの活用により、学校でなくてもパソコンで県情報や校内データにアクセスするなど、組織内での情報共有を進めている。

Ⅲ 教育活動

教育課程は、教育目的・目標に沿った編成をしており、毎年度必要な見直しを行っている。授業計画（シラバス）については、学生だけでなく、広く一般に公表している。また、育てたい卒業生像アンケートを実施し、結果をまとめ、課題と対策を検討した。

学生の単位修得や進級・卒業については、成績評価・修了認定の基準などを規程等に定め、進級判定会議・卒業判定会議で審査し認定している。

成績評価における客観的な算出方法や卒業の認定に関する方針について、ホームページで公表している。

実習環境の整備では、医療安全教育を体系的に整備し、学生への安全教育を実施している。また、実習評価アンケートや実習会議を活用し、実習施設と安全な実習環境の整備に努めている。

教員の資質向上では、教材研究に繋げる研修などの参加ができるよう教員のラダー計画に沿った年間計画を立てて実施した。また、伝達講習などで研修の成果を共有するとともに、学校で抱えている課題について、職場内研修を開催した。新任教員の支援においても、様々な教員の能力を活用し、計画的に実施した。

さらに、教員の担当領域間で連携した教育活動を進め、看護教育力の向上につなげている。

Ⅳ 学修成果

学修状況は、四半期ごとに評価し、教員で共有し活用している。国家試験対策では、全員合格をめざしチューター制による少人数指導を行うとともに、外部講師・内部講師による補講を行い、高い合格率を得た。

就業については、概ね希望にそって就職した。県内及び北浦地域への就職促進に向け、就職支援説明会を昨年度同様に開催した。

その結果、県内就職の割合は 97%で、うち 26%が北浦地域へ就職している。引き続き、県内及び北浦地域への就職率の向上に努めるとともに、卒業生の状況把握等を進め、学生の支援体制の充実を図る。

V 学生支援

就職などの支援では、卒業生などによる北浦地域の就職説明会を開催し、就職後のイメージ化につながっており、進路、就職先の決定に役立っている。

学生の学習や進路、心身の健康等に関する相談には、教員やスクールソーシャルワーカーができるだけ適時に対応しており、学生のプライバシーに配慮しながら、学生個々の状況に応じた支援を行っている。

事務局では、学生寮の入寮や奨学金などの経済面での相談に応じるとともに、手続き等の支援も行っている。

また、大学等修学支援法に基づく「高等教育の修学支援新制度」については、継続して実施した。

VI 教育環境

教育環境については、引き続き、教育機器の更新、専門誌の購入など図書の実態、経年変化した設備の修繕や施設・設備の整備・充実を努めた。

危機管理体制・安全管理体制に関しては、昨年危機管理マニュアルの見直しを行うとともに、消防訓練や生活安全講習会を実施した。

VII 学生の募集と受入れ

学生確保戦略として、山口県内の衛生看護科のある高等学校、准看護師養成施設、北浦地域の高等学校、萩市内の病院等、26 施設の訪問を行った。

また、北浦地域を中心として、県内で開催される進学ガイダンスに 30 回参加し、入学生の募集を行った。6 月に進路指導担当者説明会、7 月にはオープンキャンパスを開催し、学校見学にも対応した。

さらに、在校生による母校訪問も再開して、9 校を訪問し、本校のメリットをアピールしながら、質の高い学生の確保に努めた。

入学選考については、令和 7 年度より推薦入試募集定員を 40%から 50%に拡大した。

来年度も、国・県・大学等の動向を踏まえつつ、志願者に配慮した最適な方法を検討する。

VIII 社会貢献・地域貢献

本校寮生の菊ヶ浜清掃活動の継続や萩市内でのボランティア活動には可能な限り参加した。

看護の日記念行事の際には、学生自治体を中心となり、菊ヶ浜の清掃活動を学生全員で実施した。また、公開講座においては、「おもてなしの心」をテーマに、地元町内会他の参加も得て、開催することができた。また、フィールドワークや、地域住民の授業参加、地域内の実習施設を増やすなど、地域とのつながりを意識した活動を取り入れている。

社会貢献としては、実習指導者養成講習会の講師派遣等の協力を行った。今後も、社会貢献・地域貢献に努めていく。